

つぐし園
だより

新年あけましておめでとうございま
す。お陰様で78名の子どもと43名
の職員が穏やかな新年を迎えることが
できます。



新年の挨拶

さてコロナ禍の中、二度目の正月を迎えることになりました。一年前は、師走に入つて間もなく2名の職員が感染したことで、子どもと職員に濃厚接触者が増え、混乱の二週間を過ごし、ようやく一段落出来た中での正月でした。あの出来事からもう一年が経過したのかと、時の流れを否応なく早く感じます。幸い、今年は新型コロナ感染症も落ち着いてきたため、子ども達が楽しみにしているクリスマス会を大代理事長と遊部常務理事をお招きして開催することができました。また、法人の各施設で従事する外国人実習生の中からカンボジア出身の4名をご招待しました。例年で、町長さんはじめ通学する学校の先生等をご招待、子ども達もダンスなど三グループに分かれ、約一ヶ月をかけて練習した成果をステージで披露するなど、総勢200名規模の盛大な会を催していました。時間も食事をしながら3時間程のつくし園の中では一大イベントでしたが、このコロナ禍では例年のように実施することが叶わず、食事も終了後部屋食となるなど、規模を縮小し1時間30分程の会となりました。

会のあいさつで、二年振りとなるクリスマス会のため、以前の盛大な会を知る子ども達が約半分になつていることをお話しさせて頂きました。新しい子どもが増えていることに改めて驚いていたところですが、短い時間ながらも、ジャンケン大会やビンゴゲーム等で

第132号
2022年
1月1日
発行

発行
児童養護施設
黒松内つくし園
運行人 岡久孝雄
048-0101
黒松内町字
黒松内 562-1
TEL
136-72-3033
FAX
136-72-4066

大きいに楽しむことができ「ほつと」したところです。一年前は、クリスマス会をはじめ、冬休みの一時帰省や年取り・初詣・外出など、年末年始や冬休み中の様々な行事が取りやめとなりましたが、何とか今年は規模を縮小しながらもクリスマス会など、年末年始の色々な催しや町外の外出などができるような状況で、子ども達の楽しみを一つでも実施できることに一安心しているところです。

今、児童養護施設は、大きな転換期を迎えています。国の施策で施設の小規模化・地域分散化・高機能化等が求められています。当園も昨年4月から、50年振りに本園の定員を80名から75名に変更しました。

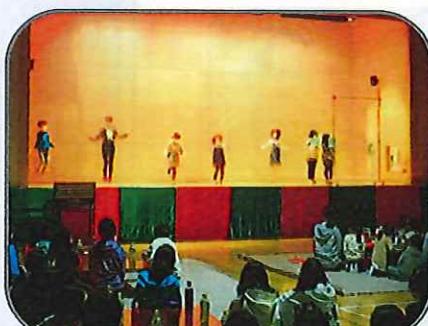
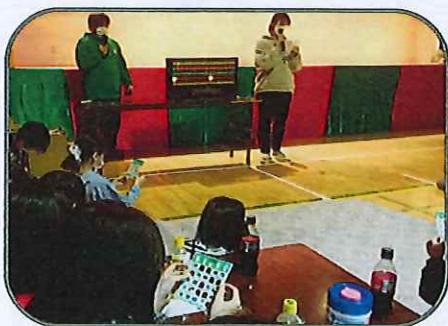
今後も、地域小規模児童養護施設の増設、オールユーツト化に向けた旧館の改修、里親委託等を進めることが考えられます。また、施設機能も一時保護機能や地域支援・里親支援などが一層重要なになつてきています。

たた一方で児童の入所紹介等なかなか減少しないこと、人材確保が非常に厳しい状況にあること、小規模化等で本体施設の機能が弱体化していくことが気がかりです。

特に、人材確保が大きな課題となっている中、小規模化等に向け職員を増やしていかなければなりません。更に、分散化等に対しても職員個々のスキルアップと職員研修の充実が重要な要素となります。國も職員待遇改善を今年2月から実施するなど、改善が図られてきているところですが、福祉の仕事は人が資本ですのでき、何とか、人材確保の課題解決に向けて最大限努力して参りたいと存じます。

子ども達の笑顔があふれる施設作りと、職員が仕事にやりがいを持ち、長く働き続けて行ける職場環境作りを目指していきたいと考えておりますので、今後とも、ご家族様や関係者皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の一曰も早い収束を願い
今年一年が皆様にとりまして、より佳い年になります。
よう心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



今年は感染対策を行い、2年ぶりに大代理事長と遊部常務理事、当法人の外国人実習生4名をお招きして行われました。会ではサンタさんとじやんけん大会、有志による歌やアクロバット等の発表、クイズ大会、bingo大会が行われ、来賓の方々にも参加してもらい楽しい時を過ごしました後、夕食は各部屋でオーデブルや生チラシなどのごちそうをクリスマス会を振り返りながら食べました。

参加した中学生は『クリスマス会では、歌や劇などたくさん練習して大変だったけど、楽しかったです。以前のようなクリスマス会がまたできるといいな。』と話してくれました。

12月25日、つくし園のクリスマス会が体育館で行われました。

つくし園では例年お世話になったボランティアの方々や各学校の先生などを招きして、クリスマス会を行っていました。しかし、昨年は新型コロナウィルスの影響で中止となり、各部屋でごちそうを食べてクリスマスを過ごしました。

クリスマス会

クリスマスの贈り物

毎年クリスマスの時期にはたくさんの方々から様々な贈り物が届きます。当紙の『ご寄付・ご寄贈』のコーナーにてお名前をご紹介させていただいているが、その一部を写真と共に紹介させていただきます。



12月14日、JAグループ北海道様よりお米20kg、北海道コンサドーレ札幌様よりサイン入りTシャツが届きました。



卒園生の館洞勝雄さん（昭和40年3月卒園）が毎年手作りクリスマスケーキを一人ひとりにプレゼンントして下さっていて、とても楽しみにしていました。しかし、2015年、館洞さんの退職した。その話を聞いた上田様が社会貢献事業の一環として2019年からケーキを寄贈して下さるようになり、今年で3回目となります。



北海道コカ・コーラグループ労働組合連合会様より組合員の給与を集めた『100円未満基金』を活用させていただき、BRディスク11巻とゲームソフト10本、コントローラー2組を購入させていただきました。コカ・コーラ労働組合連合会様は毎年この基金を道内の様々な施設や団体に寄贈して下さっています。

子ども達はみなさんが応援して下さっていることを知り、とても勇気づけられています。多くの温かいお心遣い誠にありがとうございます。

12月18日、広尾町北方圏交流振興会様より、ミニクリスマスツリーとサンタカードが届きました。広尾町はノルウェーのオスロ市から廿ソタランドの認定を受けており、平成26年から『子どもの夢を応援するプロジェクト』の一環として児童養護施設の子ども達にクリスマスカードを送って下さっています。今回は広尾町で育てた生木のミニクリスマスツリーもプレゼントして下さいました。

12月17日、株式会社ドミニノピザジャパン様がMサイズピザ40枚を寄贈して下さいました。ドミニノピザはアメリカ発祥のピザ店です。今回、厚労省を通じて『クリスマフ』のための特別な「無料ピザで地域支援」に、全国の児童養護施設等1,000団体へ寄贈されました。

実習生紹介

北海道福祉教育専門学校

関 彩音 さん

三上 あすさ さん



ご厚志に心より感謝申し上げます（R3.11.26～12.25）※敬称略

〈ご寄贈〉 トドック、中央ライフサポート、ほっともっと、日本鏡餅組合
イオン北海道労働組合、JAグループ北海道・北海道コンサドーレ札幌
水元妙子、ナミエル、全国シャンメリーアー協同組合、株式会社ホクピー
(株)ドミニノピザジャパン、北海道コカ・コーラボトリング株式会社
村形勇樹雄、公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団、青木康弘・ますみ
ホクレン農業協同組合連合会、株式会社セコマ、松尾さと子・駒己
ヘルト株式会社、上田商会、北海道信用金庫 黒松内支店
広尾町北方園交流振興会

〈ご寄付〉横井はるみ、遠藤健次、佐々木輝夫、北海道共同募金会、上山亮子
櫻井智恵、北海道コカ・コーラグループ労働組合連合会 会長 松本俊行
※ 常勤役職員からのご厚志については、[お名前を控えさせていただきます](#)

短集後記

編集後記
あけましておめでとうございます。昨年はどんな一年でしたか？今年は皆様にとって幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。瀬尾 康志

つくし園の1月の予定

- ◆ 1日 元旦
 - ◆ 2日 書初め
 - ◆ 6日 中高生男子・すぎな外出
 - ◆ 7日 小学生女子外出
 - ◆ 8日 中高生女子外出
 - ◆ 9日 町成人式
 - ◆ 10日 小学生男子外出
 - ◆ 11日 成人の日
 - ◆ 12日 男子体測、小学生男子外出
 - ◆ 13日 伊達高養始業式、女子体測
 - ◆ 14日 寿高全校集会
 - ◆ 15日 誕生会、大学入学共通テスト(～16日)
 - ◆ 17日 黒小・黒中・白中・今金高養始業式
長・蘭高全校集会
 - ◆ 18日 子ども園・白小・分校始業式
白中学年未テスト(～19日) 寿高2年スキー授業
 - ◆ 20日 黒中3年期末テスト(～21日)
 - ◆ 21日 分校身体測定
 - ◆ 22日 白小ふれあいかるた大会
 - ◆ 24日 白小振休
 - ◆ 25日 寿高2年スキー授業
 - ◆ 26日 黒小学力調査、長高3年期末考査(～27日)
 - ◆ 27日 寿高3年期末考査(～28日)
 - ◆ 28日 子ども誕生会、黒小・白小スキー学習
分校・今金・伊達高養休校、長高3年家庭学習期間
 - ◆ 31日 黒小スキー学習、寿高卒業者査